

様式 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成19年度末）

(1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保

「分類」欄は、1:廃止、2:継続、3:その他を記入してください。

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) A	平成23年度末目標 B	平成19年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方向		備考
									分類	内容	
農産物（林産物を含む）の安全性の確保	農薬取締法の遵守	農薬販売業者への計画的な立入検査の実施件数	農業技術課	88件/年	計画期間中延べ 500件	93件 (93件/年)	18.6%	18.6%	2	取り組みを強化していく。	
		農薬管理指導士延べ認定者	農業技術課	647人	1,200人	894人	74.5%	44.7%	2	引き続き実施していく。	
		農薬適正使用アドバイザー延べ認定者数	農業技術課	153人	450人	307人	68.2%	51.9%	2	引き続き実施していく。	
		特用林産物の栽培技術に関する講習会の開催	林業振興課	4回/年	計画期間中延べ 20回	4回	20.0%	20.0%	2	今後とも「森の教室」等において特用林産物の栽培技術に関する講習会を開催する。	
畜産物の安全性の確保	飼料安全法の遵守	違法飼料給与農家割合	畜産課	0%	0%	0%	達成	-	2	引き続き実施していく。	
		飼料の安全性について啓発指導した牛飼養農家戸数割合	畜産課	100%	100%	100%	達成	-	2	引き続き実施していく。	
	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理手法の導入	畜産課	HACCP方式のデータの収集検体数（特定疾病の実態調査）	畜産課	578検体	2,000検体	1,589検体	79.5%	71.1%	2	引き続き実施していく。
減化学合成農薬、減化学肥料の取り組みの推進	環境保全型農業の推進	エコファーマー認定数	農業技術課	6,513人	7,000人	7,475人	106.8%	197.5%	2	さらに取り組みを推進していく。	
減化学合成農薬、減化学肥料の取り組みの推進	甲斐のこだわり環境農産物認証事業の推進	認証基準策定品目の数	果樹食品流通課	32品目	40品目	36品目	90.0%	50.0%	2	引き続き実施していく。	
食品製造施設等における安全性の確保	食品製造施設等の監視指導	食品衛生監視指導計画に基づく監視率（監視指導実施施設率）	衛生業務課	100%	100%	103%	達成	-	2	引き続き実施していく。	
	食中毒防止対策	人口10万人あたりの食中毒患者発生者数	衛生業務課	28人/年	22人/年	58人/年	未達成	-	2	ノロウイルス対策の普及等取り組みを強化していく。	

様式 2

## 行動計画の主な目標の達成等の状況（平成19年度末）

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) A	平成23年度末目標 B	平成19年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方向		備考
									分類	内容	
給食施設における 安全性の確保	特定給食施設等に対する監視指導の実施	給食施設別巡回指導実施施設割合	健康増進課	59.4%	65%	49.3%	未達成	-	2	取り組みを強化していく。	
	学校給食における安全性の確保	学校給食施設巡回指導校数	スポーツ健康課	32校/年	計画期間中延べ175校	41校 (41校/年)	23.4%	23.4%	2	今後とも、衛生及び給食の管理が「学校給食衛生管理の基準」に適合するように巡回指導を行っていく。	
食肉処理段階における 安全性の確保	と畜検査の実施	と畜場で処理された枝肉の微生物検査を実施した枝肉数	衛生業務課	牛枝肉 67頭 豚枝肉 83頭	計画期間中延べ 牛枝肉 600頭 豚枝肉 600頭	牛枝肉 150頭(150頭/年) 豚枝肉 50頭(50頭/年)	25.0% 8.3%	25.0% 8.3%	2	取り組みを強化していく。	
	食鳥検査の実施	食鳥処理施設で処理された鶏の体の微生物検査を実施した羽数	衛生業務課	40羽	計画期間中延べ 300羽	78羽 (78羽/年)	26.0%	26.0%	2	引き続き実施していく。	
流通・販売段階における 安全性の確保	農畜水産物の農薬、抗菌性物質等の残留検査	残留農薬の収去検査結果の不適正数	衛生業務課	0	0	0	達成	-	2	引き続き実施していく。	
		残留動物用医薬品の収去検査結果の不適正数	衛生業務課	0	0	0	達成	-	2	引き続き実施していく。	
流通・販売段階における 安全性の確保	HACCPシステムの考え方を取り入れた自主管理体制の普及	営業者、従事者の受講者数	衛生業務課	7,622人/年	計画期間中延べ 50,000人	9,690人 (9,690人/年)	19.4%	19.4%	2	取り組みを強化していく。	
消費段階における 安全性の確保	県民への食品衛生知識の普及	食品衛生講習会等への参加人数	衛生業務課	965人/年	計画期間中延べ 5,000人	1,015人 (1,015人/年)	20.3%	20.3%	2	引き続き実施していく。	
	きのこ鑑定会の実施	きのこ鑑定会開催回数	森林環境総務課（森林総合研究所）	15回/年	計画期間中延べ 75回	17回 (17回/年)	22.7%	22.7%	2	今後とも「森の教室」等において鑑定会を開催するほか、鑑定員の派遣を行う。	
輸入食品の安全性の確保	輸入食品の監視指導及び収去検査の実施	食品衛生監視指導計画に基づく監視・検査実施率	衛生業務課	100%	100%	120%	達成	-	2	引き続き実施していく。	
畜産物の生産のための調査研究の推進	薬剤耐性菌発現状況の把握	薬剤耐性菌の検査件数	県畜産課	24件/年	計画期間中延べ 120件	48件 (48件/年)	40.0%	40.0%	2	引き続き実施していく。	
魚苗供給・試験指導の充実	養殖魚の防疫対策	養殖業者への巡回実施率	花き農水産課	80%	100%	100%	達成	-	2	引き続き実施していく。	

様式 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成19年度末）

(2) 食品に関する正確な情報の提供

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) A	平成23年度末目標 B	平成19年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方向		備考
									分類	内容	
適正な食品表示の徹底	食品表示合同調査の実施	調査店舗数	食の安全・食育推進室	広域100店舗 地域200店舗	計画期間中 500店舗 計画期間中 1000店舗	96店舗(96店舗/年) 141店舗(141店舗/年)	19.2% 14.1%	19.2% 14.1%	2	計画的に実施していく。	
		食品適正表示実施率100%の店舗割合	食の安全・食育推進室	53%	80%以上	51%	63.8%	-	2	表示の調査、指導、相談対応等の取り組みを強化していく。	
トレーサビリティシステムの整備	トレーサビリティシステムの利用促進	青果ネットカタログ等による生産情報等の提供数	果樹食品流通課	52件	150件	115件	76.7%	64.3%	2	引き続き実施していく。	
	ホームページによる県産牛肉の生産履歴の公開	ホームページのアクセス数	畜産課	7,000件/年	10,000件/年	11,000件/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
食品の安全性に関する情報提供	消費者等への情報提供	県のホームページアクセス件数	食の安全・食育推進室	約7,000件/年	10,000件/年	11,403件/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
食品の安全性に関する相談の受付、苦情の対応	食品安全110番の設置、運営	食品安全110番による相談対応件数	食の安全・食育推進室	82件/年	計画期間中延べ 450件	177件 (177件/年)	39.3%	39.3%	2	引き続き実施していく。	
	イベント開催時の相談等への対応	相談対応件数	食の安全・食育推進室	7件/年	計画期間中延べ 100件	37件/年 (37件/年)	37.0%	37.0%	2	引き続き実施していく。	
食の安全・安心について普及・啓発	リスクコミュニケーションの推進	意見交換会等の参加者数	食の安全・食育推進室	480人/年	600人/年	1,080人/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
	研修会の開催や勉強会等への講師派遣	研修会等開催回数	食の安全・食育推進室	14回/年	計画期間中延べ 150件	33回/年 (33回/年)	22.0%	22.0%	2	引き続き実施していく。	
	栄養士、調理師、食生活改善推進員等に対する研修会の実施	研修会への参加者数	健康増進課	4,939人/年	5,000人/年	7,647人/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	

様式 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成19年度末）

(3) 消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) A	平成23年度末目標 B	平成19年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方向		備考
									分類	内容	
消費者、生産者、事業者との交流促進	児童・生徒・先生等の牧場等への視察の実施	牧場等視察学校児童・生徒数累計	畜産課	4,337人	7,000人	4,745人	67.8%	15.3%	2	取り組みを強化していく。	
地産地消の推進	地元農林畜水産物の地産地消の推進	地産地消サポーター数	果樹食品流通課	1,022人	1,250人	1,135人	90.8%	49.6%	2	引き続き実施していく。	
	地産地消県民運動の推進	直売所の登録農家数	果樹食品流通課	延べ9,412人	延べ 10,700人	9,573人	89.5%	12.5%	2	取り組みを強化していく。	
	学校給食等における地元の農林畜水産物の活用	学校給食への牛乳の年間供給本数	畜産課	児童生徒1人 当たり194本 /年	児童生徒1人 当たり194本/年	児童生徒1人 当たり194本/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
		学校給食における地元の農林畜水産物の活用	学校給食における県産食材の使用割合（重量ベース）	果樹食品流通課 スポーツ健康課	31.70%	35%以上	33.70%	96.3%	60.6%	2	今後とも、地域の生産者等と協力体制を築き、学校給食に地域の食材を利用した献立、郷土食などを積極的に取り入れていく。次回は20年度調査予定。
食育の推進	農業体験学習の推進	農畜水産物生産現場での農業体験の実施	農政総務課 畜産課 農業技術課 花き農水産課	180人/年	250人/年	323人/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
	学校給食関係者に対する食に関する研修会等の実施	研修会等への参加人数	スポーツ健康課	1,950人/年	計画期間中延べ 10,000人	2,305人 (2,305人/年)	23.1%	23.1%	2	今後とも、学校長のリーダーシップのもと、栄養教諭・学校栄養職員が中心となって食に関する指導全体計画をもとに食育の推進を図っていく。	
	食育実践地域活動支援事業	食育ボランティアの育成数	食の安全・食育推進室	4,694人	5,200人	5260人	101.2%	111.9%	2	引き続き実施していく。	

様式 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成19年度末）

(4) 総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) A	平成23年度末目標 B	平成19年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方向		備考
									分類	内容	
施策推進のための 情報・意見交換の 充実	リスクコミュニ ケーションの推進 (再掲)	意見交換会等の参加者数	食の安全・ 食育推進室	480人/年	600人/年	1,080人/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
	食の安全・食育実 践活動	推進大会参加者数	食の安全・ 食育推進室	200人/年	250人/年	250人/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
市町村との連携、 情報・意見交換	市町村ネットワ ークの構築	市町村担当者会議の開催	食の安全・ 食育推進室	-	計画期間中 10回	1回/年	10.0%	10.0%	2	取り組みを強化していく。	
NPOや食育ボラ ンティア、自主活 動組織との協働	食育実践地域活動 支援事業(再掲)	食育ボランティアの育成数	食の安全・ 食育推進室	4,694人	5,200人	5260人	101.2%	111.9%	2	引き続き実施していく。	